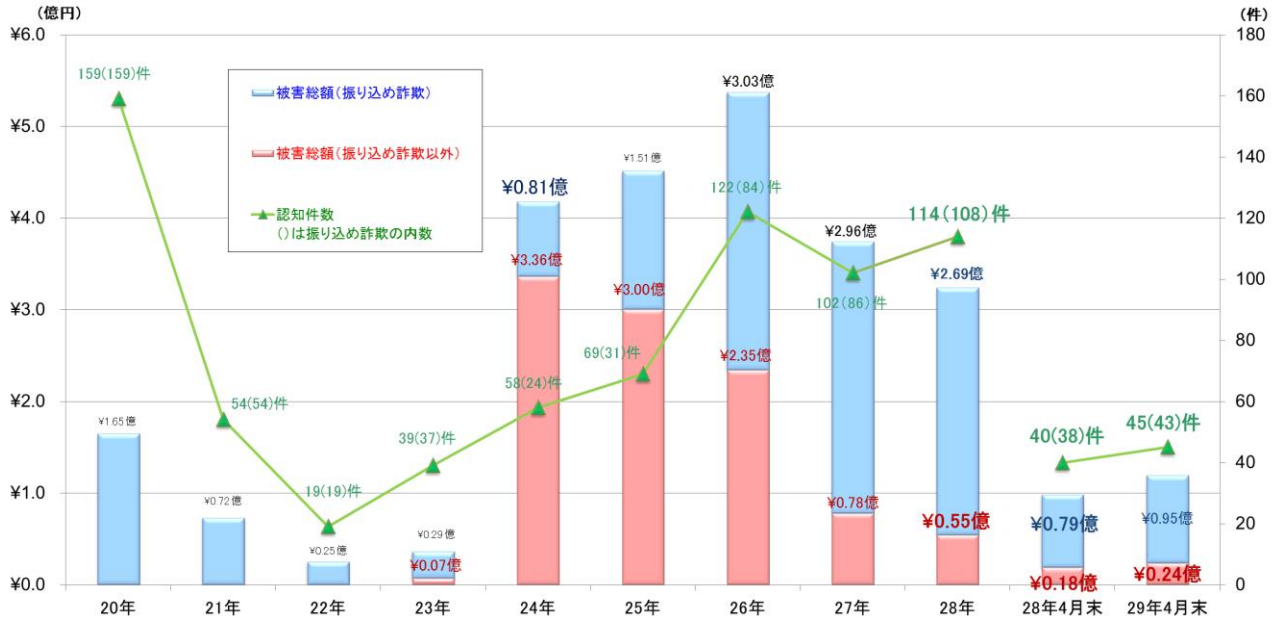


特殊詐欺の現状（平成 29 年 4 月末・暫定値）

1 認知状況の推移

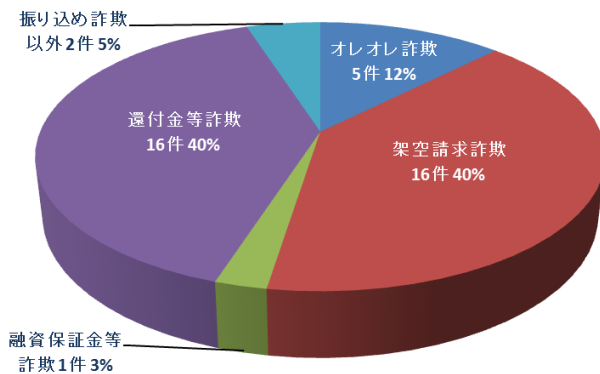


	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	28年4月末	29年4月末
認知件数(件)	159	54	19	39	58	69	122	102	114	40	45
被害総額(円)	164,648,368	72,467,324	24,863,582	35,811,777	417,635,389	451,456,105	537,329,506	374,047,674	323,908,477	97,959,909	119,133,775

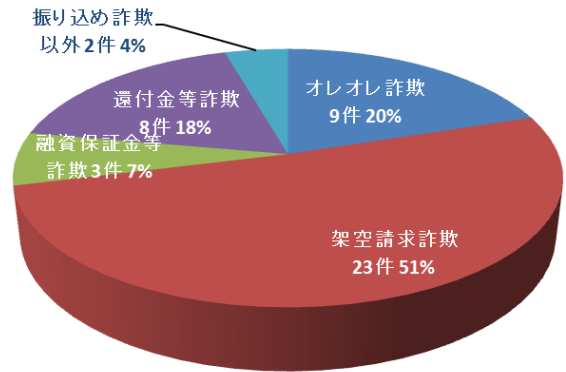
(前年同期比 認知件数+5 件、被害総額+2,117 万 3,866 円)

2 平成 29 年 4 月末の手口別認知状況

【平成 28 年 4 月末】



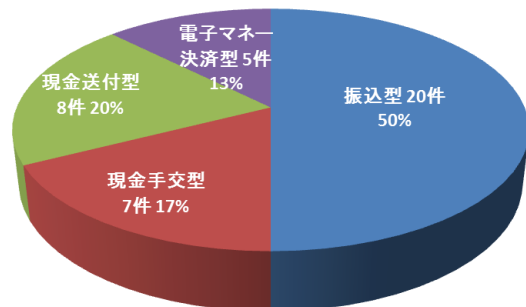
【平成 29 年 4 月末】



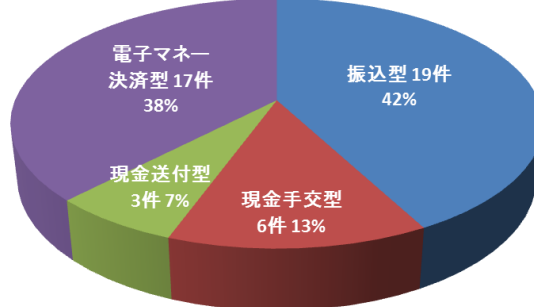
	オレオレ詐欺		架空請求詐欺		融資保証金詐欺		還付金等詐欺		振り込み詐欺以外		合計	
	件数	被害総額(円)	件数	被害総額(円)	件数	被害総額(円)	件数	被害総額(円)	件数	被害総額(円)	件数	被害総額(円)
4月末	9	24,100,000	23	45,991,504	3	18,054,278	8	7,265,993	2	23,722,000	45	119,133,775
前年比	+4	-5,550,000	+7	+14,644,504	+2	+17,779,278	-8	-10,711,916	±0	+5,012,000	+5	+21,173,866

3 交付形態

【平成 28 年 4 月末】

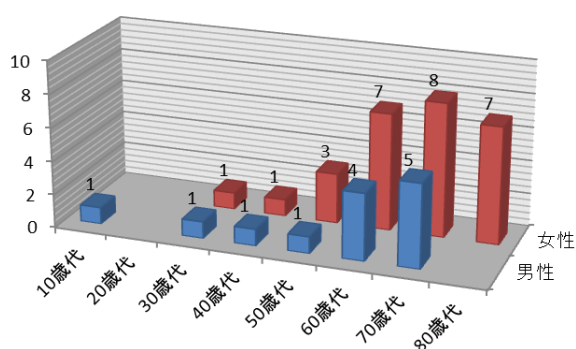


【平成 29 年 4 月末】

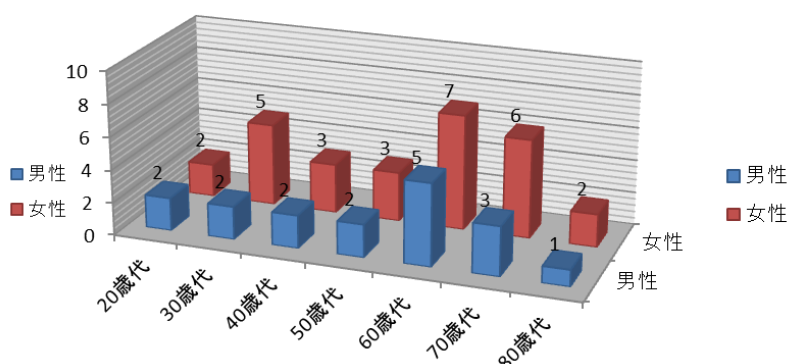


4 被害者の年齢・性別構成

【平成 28 年 4 月末】



【平成 29 年 4 月末】



5 平成 29 年中の特徴

- 特殊詐欺被害の 5 割以上が「架空請求詐欺」（45 件中 23 件）であり、そのうち、電子マネーを悪用した手口（身に覚えのない有料サイトの未納料金をを請求し、電子マネーを購入させた上、その個別番号を聞きだしてだまし取る手口）が大半（23 件中 17 件）を占めている。
- 「還付金詐欺」は、認知件数・被害額ともに昨年から大きく減少する一方で、「オレオレ詐欺」、「架空請求詐欺」及び「融資保証金詐欺」の認知件数は昨年同期に比べて増加しており、そのうち、「架空請求詐欺」及び「融資保証金詐欺」の被害額は、昨年同期に比べて大きく増加している。

6 金融機関等における被害阻止状況

【平成 28 年 4 月末】

件数	被害阻止額(円)
36	25,278,234

【平成 29 年 4 月末】

件数	被害阻止額(円)
58	116,700,901

(前年同期比 阻止件数+22 件、阻止金額+9, 142 万 2, 667 円)

- 平成 29 年 4 月の被害阻止等好事例（金融機関職員による被害阻止）
被害阻止者（金融機関職員）は、年金支給日である 4 月 14 日、被害者（70 歳代・男性）が落ち着かない様子で預金約 500 万円を現金で引き出そうとしたことなどから不審に思い、詐欺を疑い、警察へ通報し、約 500 万円の被害を未然に阻止した。